

横浜市立大学 次期中期目標骨子(案)

(前文)大学の基本的な目標

○「策定方針（H21.11）」を中心に検討する。

・次期中期目標は、現行の目標を継承しつつ、市民が誇りうる、市民に貢献する、そして発展する国際都市・横浜とともに歩む「横浜市が有する意義のある大学」として、「教育重視・学生中心・地域貢献」という基本方針のもと、その存在意義を明確に市民に示すことができるような中期目標を策定する。

○「地域貢献」と「国際化」は大学の全部署ですべての教員が取り組むため、個別の項目立てとせず、前文に取り込む。

○市大内部で次期中期計画を検討するにあたり作り上げた「大学のミッション」についても反映する。

- ・大都市横浜における知識基盤社会の都市インフラとしての拠点機能
- ・「都市」が抱える課題の解決
- ・グローバルな視野を持って活躍できる人材の育成
- ・地域医療を支える医師・看護師の育成
- ・市域への高度な医療提供
- ・〇〇分野における世界的レベルの研究拠点

I-1 教育に関する目標

1 全学的な目標

- ・入学者受入方針(アドミッションポリシー)、卒業生の到達目標(ディプロマ・ポリシー)、教育課程編成・実施の方針(カリキュラムポリシー)に基づく大学運営
- ・教育の質の向上
- ・都市課題の解決に取り組むことのできる人材育成
- ・市大の国際化推進

2 学部教育に関する目標

(共通教養教育)

- ・問題解決能力・国際的な教養・豊かな人間性と倫理観を養うことを目指した共通教養教育

(国際総合科学部)

- ・国際基準を満たす教育と、それを生かした取組の実施
- ・学部・大学院での一貫した教育

(医学部:医学科・看護学科)

- ・医師不足診療科の課題への対応、市域・地域の医療体制への貢献

3 大学院教育に関する目標

- (都市社会文化、生命ナノシステム科学、国際マネジメント研究科)

- ・博士前期課程:政策的課題を実践的に研究・解決する各専門分野での専門家の育成
- ・博士後期課程:研究成果を地域社会・世界に発信できる人材、高度の専門的業務に従事する人材の育成

- ・3研究科の運営改善

- ・他大学、学外機関との連携

(医学研究科)

- ・修士課程:先端的な医療を支える高度の専門的職業人及び研究者の育成
- ・博士課程:研究成果を地域社会・世界に発信できる人材、高度の専門的業務に従事する人材の育成
- ・高度専門看護職の養成体制の整備

4 学生支援に関する目標

- ・学習環境の充実、キャリア開発支援、経済的支援等の充実

I-2 研究の推進に関する目標
1 研究水準及び研究の成果等に関する目標 <ul style="list-style-type: none"> ・戦略的な研究の推進・外部資金の獲得・早期成果創出により国際的な学術研究の進展に寄与 ・研究成果の教育への反映、知的財産の活用等を通じた地域貢献・社会貢献 ・研究倫理の遵守の徹底
2 研究実施体制等の整備に関する取組 <ul style="list-style-type: none"> ・生命科学分野の再編、領域横断的研究分野の開拓とその推進が可能となる体制づくり ・先端医科学研究センター施設整備 ・重粒子線がん治療施設の支援
II 附属病院に関する目標
1 医療分野・医療提供等に関する目標 <ul style="list-style-type: none"> ・2病院の役割分担の明確化、地域医療機関との連携強化、専門性の高い医療の提供、患者・市民への広報活動 ・医学部との研究連携
2 人材育成等に関する目標 <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな人間性、高い倫理観を備えた地域医療に貢献する医療人の育成 ・医療スタッフの確保、労働環境の整備、医師不足診療科への対応 ・地域の医療従事者の育成
3 病院運営等に関する目標 <ul style="list-style-type: none"> ・附属2病院の連携による地域貢献、患者本位の医療の提供、安全な医療の提供、コンプライアンスの推進、ガバナンスの強化 ・経営の効率化、市の政策的医療への対応、2病院の役割分担と連携
III 業務運営の改善に関する目標
1 ガバナンス機能強化及びコンプライアンス推進等運営の改善に関する目標 <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の意識改革、理事長・学長のガバナンス機能の強化および法人全体のコンプライアンスの強化
2 人材育成・人事制度に関する目標 <ul style="list-style-type: none"> ・人事制度の効果的運用・改善などによる職員的能力・モチベーションの向上 ・組織体制・市派遣職員のあり方
3 大学の発展に向けた整備に関する目標 <ul style="list-style-type: none"> ・既存施設の維持・管理、施設設備の整備・改修、安全を確保した環境整備 ・広報活動の充実、大学情報の積極的な発信
4 情報公開に関する目標 <ul style="list-style-type: none"> ・透明性の確保、積極的な情報公開、個人情報管理体制の充実と仕組みづくり

IV 財務内容の改善に関する目標

1 運営交付金に関する目標

・透明・明確な算定基準による運営交付金の交付

2 費用削減に関する目標

・財務基盤の強化、予算統制(収支計画、資金計画、人員配置計画、設備投資計画など)が機能するための取組

3 自己収入の拡充に関する目標

・寄附制度の拡充、大型プロジェクト研究費等の外部資金の獲得

V 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標

1 事業の進捗管理に関する目標

・計画の進捗管理、自己評価・点検、第三者評価機関からの評価の反映

別表

1 地域貢献に関する目標

2 国際化に関する目標